

証券コード：8015

第100期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

目次

株主の皆様へ	1
特集 新型コロナウイルス感染症に対する 当社グループの取り組みについて	3
財務ハイライト(連結)	5
連結財務諸表	7
各事業の概況(連結)	9
IRインフォメーション	11
事業トピックス	12
Global Vision達成に向けた取り組み	13
会社情報、株価/出来高、株式の状況	14



株主の皆様へ



取締役社長

貸谷伊知郎

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

第100期上半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

まず初めに、新型コロナウイルス感染症により、世界各国でお亡くなりになられた皆様に謹んでお悔やみを申しあげますとともに、現在も引き続き闘病中の皆様に心よりお見舞いを申しあげます。また、医療関係をはじめ命と生活を守るために最前線でご尽力されている皆様に心からの敬意を表します。

豊田通商グループの当上半期の業績につきましては、売上総利益は2,622億円、営業活動に係る利益は719億円となりました。また当期利益(親会社所有者帰属)は前年同期比375億円減益の416億円となりました。なお6月10日に公表しました通期業績見通し800億円に対する進捗率は52%となります。

配当金につきましては当初の公表通り、中間配当金は1株当たり50円とし、支払開始日を11月26日とさせていただきます。

我々の生活に甚大な影響を及ぼしている新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか収まらず、当社グループにとっても極めて大きな試練となる中で、成長に向けた種まきを絶やさないことが将来の

市場における競争力の差に現れてくると確信し、「危機意識を持ちながらも委縮をせずに挑戦を続けよう」と社内に呼びかけました。

フランスの経済学者ジャック・アタリ氏の「エコノミー・オブ・ライフ」という言葉が表すように、このコロナ禍の厳しい状況でも人々の日常の生活と命を守るために経済を回すことは重要であり、生活の基盤を成すビジネスに携わっている企業はその社会的責任を負っている、と我々は改めて自覚をしております。

当社グループは、従業員とその家族の健康と安全を守り抜き、危機への備えを万全に行った上で、可能な限りビジネスを継続して社会課題解決に貢献してまいります。また、コロナ禍収束後の飛躍的な成長を目指して国・地域の状況に適した守りと攻めの施策を徹底し、この困難な状況でもしっかりと挑戦を続けていく所存です。

当社グループをご理解いただき、ご支援くださっている株主の皆様に心より感謝申しあげますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

敬具
2020年11月